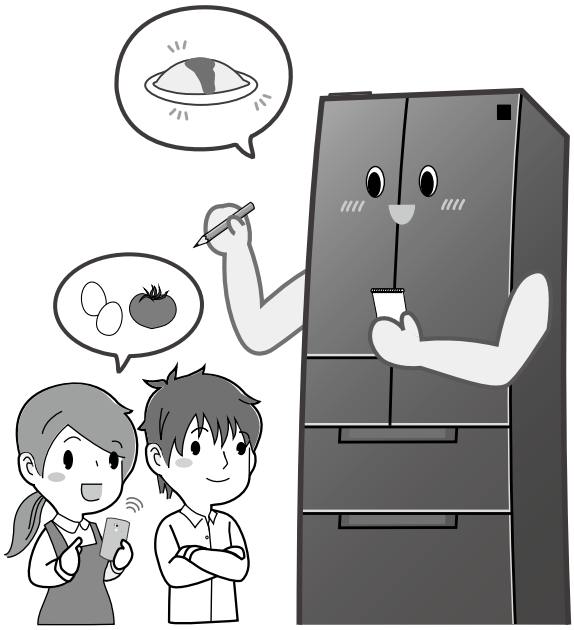
SHARP

冷凍冷蔵庫

クラウドサービスガイド

形名

エス ジェイ ティー エフ シー
SJ-TF49C



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。このクラウドサービスガイドをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用の前に、製品に同梱されている取扱説明書の、「安全上のご注意」もあわせて必ずお読みください。

このクラウドサービスガイドは、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。(通信の再設定が必要になる場合があります)

本製品は一般的な無線LAN機器として、ご家庭宅内でお使いください。

本書では、無線LAN機能の初期設定、音声対話機能を活用した冷蔵庫の使いかたについて、説明しています。

もくじ

		ページ
はじめに	こんなことができます	2
	安全上のご注意	3
	必要な環境	3
	各部のなまえ • 操作パネル • 無線LAN通信モジュール	4
	無線LAN使用上のご注意	5
使いかた	初期設定 • 無線LANに接続する • スマートフォンと連携する	6
	冷蔵庫と音声対話をする	8
	献立の相談をする	9
	買い物メモをする	10
	伝言・スケジュール・天気予報を確認する	11
	各種設定 • 音声対話機能を「切」にする • 無線LAN接続をやめる • 無線LANアクセスポイントを変更したとき • 「ECHONET Lite」モードへ切り替える • 無線LAN機能を初期化する(廃棄するとき・第三者へ譲渡するとき) • 第三者から譲渡されたとき	12
必要なとき	こんなときは	14
	本製品で使用している知的財産権など	16
	シャープクラウドサービス利用規約	18
	無線LAN機能に関する仕様	21
	サポートページのご案内	22
	話しかけ言葉 早見表	裏表紙

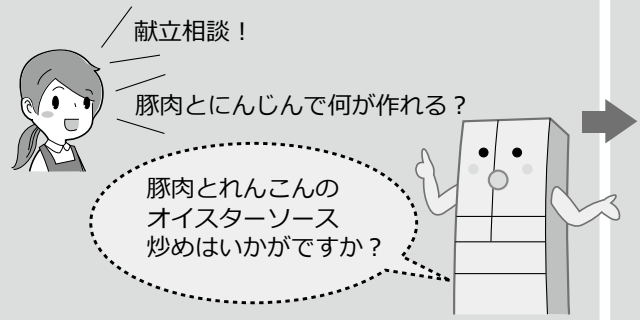
こんなことができます

（　　）の数字は、主な説明のあるページ番号を示しています。

- **無線LAN接続により、シャープクラウドサービスとつながると、音声で対話ができます。冷蔵庫と対話することで、メニューの提案を受けたり、食材を買うタイミングを知ることができます。**
- **スマートフォンなどの情報端末機器の専用アプリと連携させると、さらに使いかたが広がります。専用アプリは２種類あります。**（本書では、情報端末機器の例として、スマートフォンで説明します。）

食材すっきりナビ・買わなきゃナビ

献立を相談できる 9 ページ



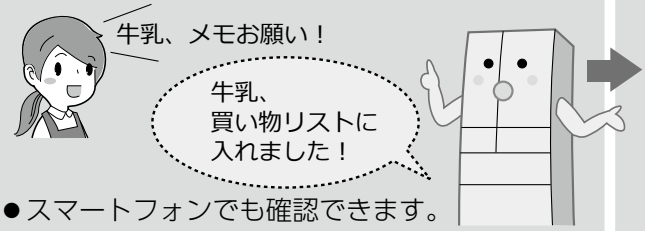
スマートフォンでレシピを確認、買い物リストを作れる

- 買い物リストを見ながらお買い物できます。



スマートフォン専用アプリ「COCORO KITCHEN」との連携が必要です。

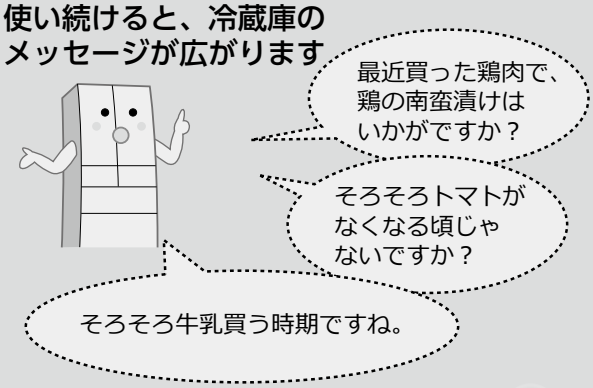
気づいたときに買いたい食品を声でメモできる 10 ページ



- スマートフォンでも確認できます。

スマートフォン専用アプリ「COCORO KITCHEN」との連携が必要です。

使い続けると、冷蔵庫のメッセージが広がります



生活リズムナビ

暮らしの情報

天気予報(*1)、今日は何の日、食品の保存方法など、暮らしに役立つ情報をお知らせします。

伝　言 (*2) 11 ページ

外出先で伝言を録音。冷蔵庫が受け取り家族に伝えます。

スケジュールをお知らせ (*2) 11 ページ

カレンダーに登録した家族のスケジュールをお知らせします。

冷蔵庫をコントロール (*2)

外出先から「おいそぎ製氷」と「節電25」の設定と解除ができます。冷蔵庫のドア開閉回数などもお知らせします。

＊1　スマートフォン専用アプリ「ココロボ～ド」または「COCOROKITCHEN」との連携が必要です。
＊2　スマートフォン専用アプリ「ココロボ～ド」との連携が必要です。

◎グッドタイミングメッセージが暮らしを応援

- 冷蔵庫がお客様の生活パターンを学習し、暮らしのタイミングに応じたアドバイスや声かけで、キッチン家事だけでなく、暮らしを応援します。
- お客様の生活パターンを覚えるまでは、うまく声かけができないことがあります。
（ご使用開始から約２週間かかります）

- 音声対話機能の対応言語は、日本語のみです。
- 本書で記載している画面、イラスト、冷蔵庫の発話内容は説明用のものであり、実際とは異なる場合があります。
- 専用アプリやシャープクラウドサービスを利用するためには、それぞれの利用規約に同意する必要があります。
- 専用アプリやシャープクラウドサービスは、バージョンアップにより内容が変更されることがあります。また、予告なくサービスを停止することがあります。

安全上のご注意　無線LAN通信ご利用に際して

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたで生じる内容を、次のように区分して説明しています。

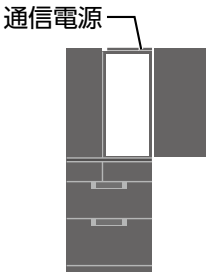
警告	「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。

してはいけないこと。	しなければならないこと。

警 告

- **病院内など電波を発する機器の使用が禁止されている場所では本製品の無線LAN機能を使用しない(通信電源を切にする)** 12ページ
  (医療機器の誤作動の原因)



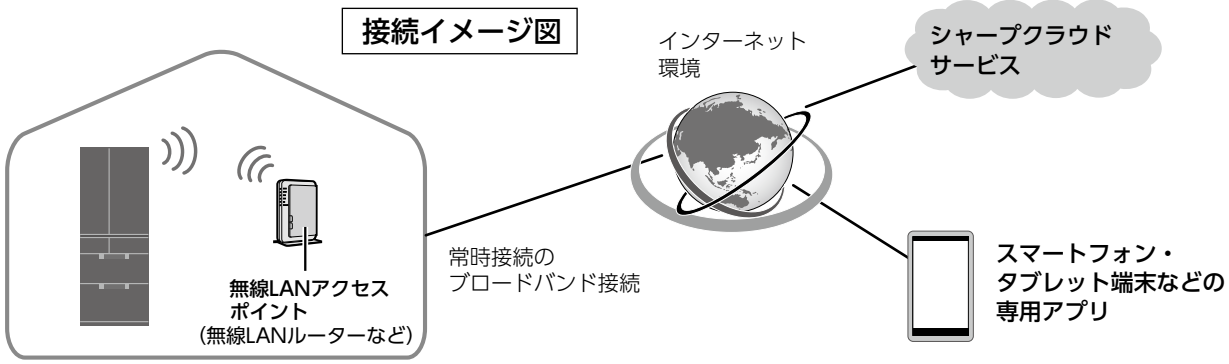
- **医療用ペースメーカーを装着している場合は、本製品の無線LAN通信モジュールから装着部位を15cm以上離して使用する**
  (医療機器の誤作動の原因)
  電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

- 上記のほかに、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで本製品を使用しない。
  ご注意いただきたい電子機器の例：
  補聴器、医療用ペースメーカー、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など

必要な環境

- **常時接続のブロードバンド回線**
  インターネットに接続する際に、毎回 ID認証をおこなう場合は、ご利用できません。
  光回線をおすすめします。ADSL回線でのご利用は、ネットワーク接続が不安定であるためおすすめしません。
  ダイヤルアップ、モバイルルーターやスマートフォンのテザリングではご利用になれません。
- **無線LANアクセスポイント(プッシュボタン方式対応のもの)**
  プッシュボタン方式とは、無線LANアクセスポイントの「ボタンを押すだけで機器との接続設定が完了する機能」のことです。
- **スマートフォン、タブレット端末などの携帯端末機器(連携して使用する場合)**
  Android™4.1以降のスマートフォン、タブレット端末、iOS 8以降のiPhone、iPod touch、iPadに対応しています。(2017年3月現在)ただし、無線LAN機能に対応していないスマートフォンはご利用できません。

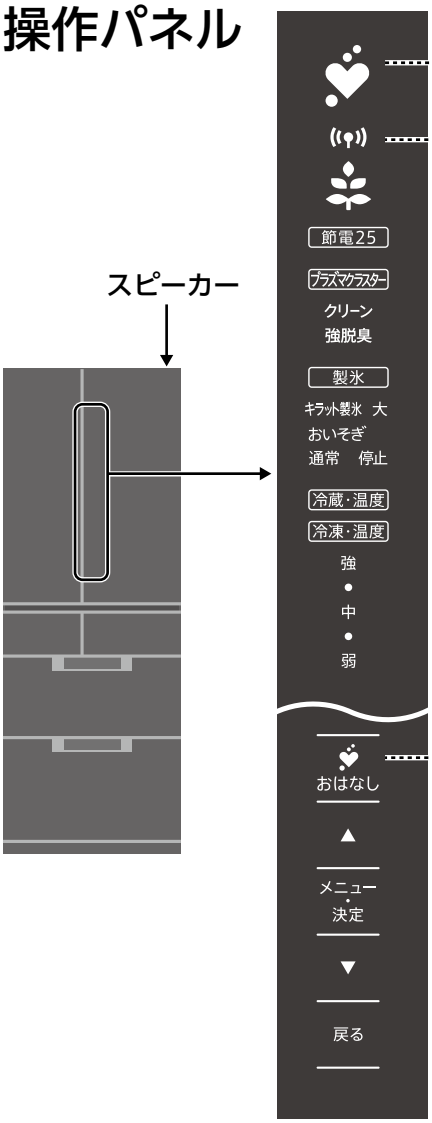
接続イメージ図



- インターネット接続、専用アプリのダウンロードや操作などに必要な通信費は、お客様のご負担になります。
- 「Android」はGoogle Inc. の商標です。「iPhone」「iPod touch」「iPad」は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
  そのほか、説明書の中で記載されている会社名、団体名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

各部のなまえ

操作パネル



おはなしランプ



●ランプの色と点滅/点灯で状況を表します。

ランプの色	ランプ点滅	ランプ点灯
ピンク	メッセージがあります。	→ 冷蔵庫発話中
緑	**話しかけてください。**	→ 音声認識中
青	返事を準備しています。	→ 冷蔵庫発話中

各種設定中はオレンジ色で点灯または点滅します。

コネクトランプ

通信状態を表します。

点灯	**無線LAN機能を使えます。**
点滅	**無線LAN通信モジュールは起動していますが、通信エラーが発生しています。**14ページ
消灯	**無線LAN通信モジュールが停止、または無線LAN通信モジュールの設定が完了していません。**

おはなしキー

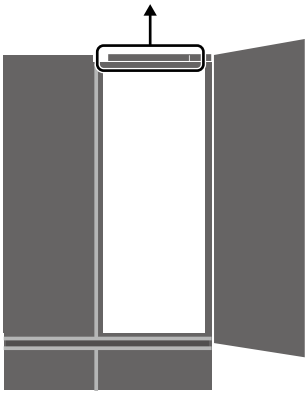


●おはなしランプがピンク色に点滅したら押してください。メッセージを聞くことができます。

●冷蔵庫と対話をするときに押してください。

無線LAN通信モジュール





●各ランプの点灯は、次の状態を示します。

通信電源ランプ	無線LAN通信モジュールの電源「入」。
無線LANランプ	冷蔵庫が宅内の無線LANアクセスポイントと接続。
リンクランプ	冷蔵庫がシャープクラウドサービスと接続。

●おはなしランプは、操作パネルの「おはなしランプ」と同じはたらきです。

無線LAN 使用上のご注意

無線LANをご利用の場合は、電波や個人情報などに関して守らなければならない注意事項があります。
次の内容、およびご使用の無線LANアクセスポイントの取扱説明書を必ずご覧のうえ、正しくお使いください。
お客様、または第三者による誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。

■ 電波に関する使用上のご注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵しています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
  また、本製品は日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵していますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  ・本製品内蔵のモジュールを分解／改造すること。
- 本製品を次のような場所で使用した場合、機能が制限されることがあります。
  本製品と同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth、その他特定小電力無線機器の近く。
  また、電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところでは、一時的に電波状態が悪くなり、ご利用できなくなる場合があります。

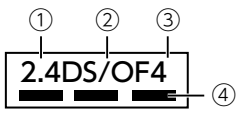
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

① 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

② 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに無線LANアクセスポイントの使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、シャープ冷蔵庫サポートページ (22ページ) の専用フォームからご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。

③ その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、シャープ冷蔵庫サポートページ (22ページ) の専用フォームからお問い合わせください。

- 本製品内蔵の無線LAN通信モジュールは、以下の仕様に対応しています。
  ・IEEE802.11b/g/n
  ・セキュリティ：暗号方式「WEP」は、セキュリティ強度が低いため対応しておりません。
  ・本製品が使用する無線の周波数などの仕様は次の通りです。



① 2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS/OF：変調方式がDS-SS方式/OFDM方式であることを示します。
③ 4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
④ ■ ■ ■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味しています。

■ 個人情報(セキュリティ関連)に関する使用上の注意事項について

- 無線LAN機器をご利用の場合は、暗号設定有無にかかわらず電波を使用している関係上、傍受される可能性があります。
- 無線LANは、電波を利用して本製品と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、通信内容を盗み見られる／不正に侵入されるなどの可能性があります。
- 無線接続設定時に利用権限がない機器およびネットワークとの接続をしないでください。
- 廃棄したり第三者に譲渡する場合、第三者から譲渡された場合は、無線LAN機能の初期化 (13ページ) をおこなってください。
- 第三者から譲渡された場合は、第三者からの不正アクセスなどを防ぐため、専用アプリの登録情報と無線LAN通信モジュール内の登録情報の初期化(「第三者から本製品を譲渡されたとき」 (13ページ))をおこなってください。

■ その他

- すべての無線LANアクセスポイントおよび住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
  JATE等による技術基準適合認証を受けた無線LANアクセスポイントをご使用ください。
  また、次のような場所では、電波が届かなくなったり、電波が途切れたりすることがあります。
  ・コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物内／障害物の近く／同じ周波数を利用する無線通信機器の近く。
- 本製品の無線LANは1～13チャンネルに対応しています。これ以外のチャンネルに設定されている無線LANアクセスポイントとは通信できません。
- 無線LANと電子レンジは、同じ周波数帯を利用しています。電子レンジの使用中は一時的に電波状態が悪くなり、ご利用できない場合があります。

初期設定

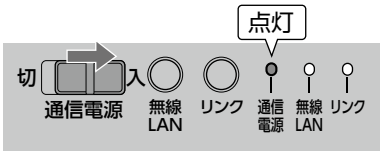
まず最初に、取扱説明書 (8 ページ) の初期設定(音量設定)をおこなってください。

無線LANに接続する

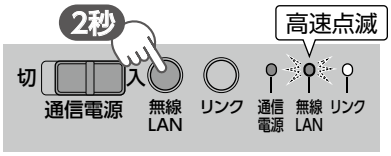
接続すると、冷蔵庫と音声で対話できるようになります。

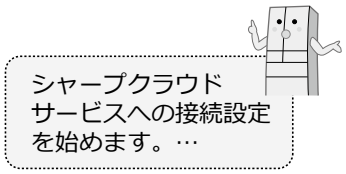
- 話しかけた言葉を音声データにして、インターネットを通じて音声認識サーバーに送信します。
  あらかじめシャープクラウドサービスの利用規約 (18ページ) をよくお読みください。

1 **通信電源を「入」にする**
(通信電源の位置 (4 ページ))



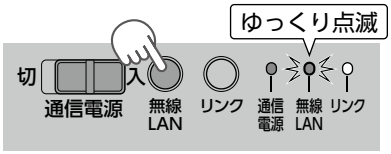
2 **無線LANボタンを無線LANランプが点滅するまで押す(約2秒)**

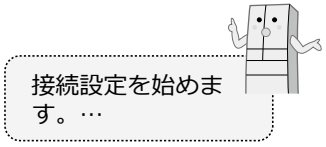




3 **利用規約 (18ページ) に同意できたら、無線LANボタンをもう一度を押す**

- 同意しないときは、リンクボタンを押す。(設定中止)

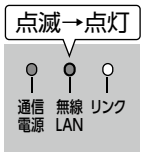


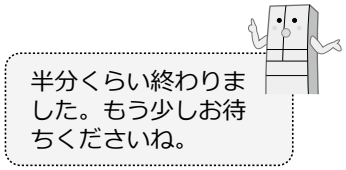


4 **宅内の無線LANアクセスポイントをプッシュ接続ができる状態にする**

- 操作方法は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

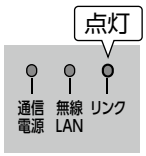






5 **そのまましばらく待つ**
(数分かかることがあります)

- リンクランプが点灯したら、シャープクラウドサービスへの接続完了です。







コネクトランプ
点灯(青色)

スマートフォンと連携する

スマートフォンと連携すると、外出先でレシピや買い物リストを確認できます。
また、アプリに登録した伝言やスケジュールを冷蔵庫が話します。

1 **下記サイトから「SHARP i CLUB」の会員登録をする**

http://iclub.sharp.co.jp/m/

- 専用アプリを使用するためには、「SHARP i CLUB」のシャープIDが必要です。(ID登録料：無料)

2 **スマートフォンを冷蔵庫と同じ宅内無線LANに接続する。**

3 **専用アプリをインストールする** (アプリ：無料)

- 専用アプリは2種類あります。目的に合わせてご希望のアプリをインストールしてください。

メニューのレシピや材料の確認、買い物リストの操作ができます。

「COCORO KITCHEN」アプリ
https://cboard.cloudlabs.sharp.co.jp/cocoroapp/download/kitchen/

伝言・家族のスケジュール管理・冷蔵庫の操作(一部機能)ができます。

「ココロボ～ド」アプリ
https://cboard.cloudlabs.sharp.co.jp/fsns/static/info/

4 **アプリを起動させ、画面に従って初期設定をする**

- アプリはそれぞれ初期設定をしてください。
- 設定の途中で、冷蔵庫を操作する場合もあります。

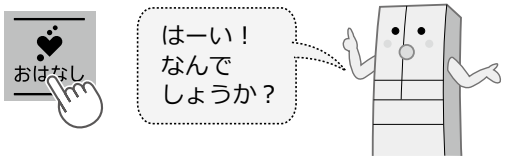
冷蔵庫と音声対話をする

音声対話機能とは

冷蔵庫が音声認識をし、インターネット経由で専用サーバーとやり取りすることで、対話ができる機能です。

1 「おはなし」を押す

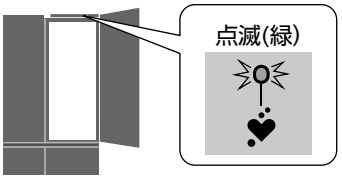
●冷蔵庫が返事をしたり、メッセージを話したりします。



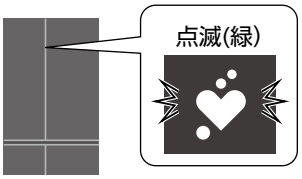
2 おはなしランプが、**緑色に点滅**しているのを確認する



ドアを開けて話すとき

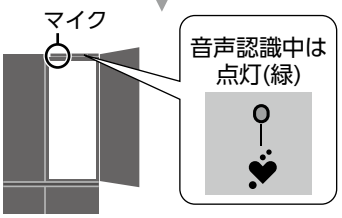


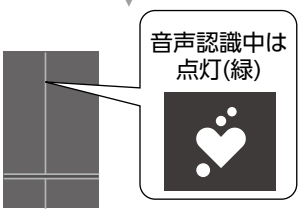
ドアを閉めたままで話すとき



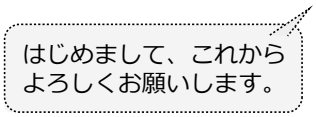
3 マイクに向かって話す

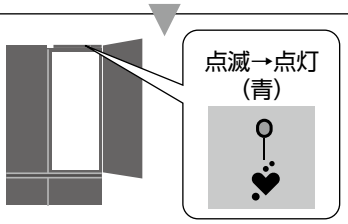


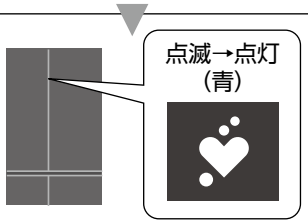




4 冷蔵庫が返事します







●対話が中断した状態が約30秒続くと、対話を終了します。(冷蔵庫が「またね！」と話します)
●対話をすぐに終了させたいときは、「おはなし」キーを押してください。

話しかけのコツ

●冷蔵庫正面の約80cm以内の距離で、通常の会話より少し大きめの声で話す。
●**おはなしランプの状態を確認しながら話す。**必ず緑色の点滅のときに、話しかけてください。

ランプの色	ランプ点滅	ランプ点灯
ピンク	メッセージがあります。 →	冷蔵庫発話中
緑	**話しかけてください。** →	音声認識中※
青	返事を準備しています。 →	冷蔵庫発話中

※話し終わると、音声を認識したことを示すお知らせ音が鳴ります。



●初めから終わりまで、はっきりした言葉で(特に言葉の最初と最後はやや強めに)話す。
例えば、「おはよう」の「お」と「う」はやや強めに発声する。「お･は･よ･う」など区切らない。
●語尾はのばさない。(「おはよー」など)
●速すぎない速度で話す。 ●マイクに極端に近づかない。 ●極端な抑揚はつけない。

ご注意

- 動作環境や話しかたによっては、音声が正しく認識されないなど、意図した対話ができない場合があります。
- 周囲の音(テレビの音、物音、話し声など)も認識して返事する場合があります。テレビの音などは音量を下げてから、音声対話を開始してください。
- 冷蔵庫が返事をしないとき、おはなしランプが緑の点滅のまま変わらないとき、冷蔵庫が聞き直したときは、ひと呼吸おいてから少し大きめの声(または少し低めの声)でもう一度話しかけてください。
- ネットワーク速度やサーバーの状況によっては、冷蔵庫の返事に時間がかかったり、返事ができないことがあります。

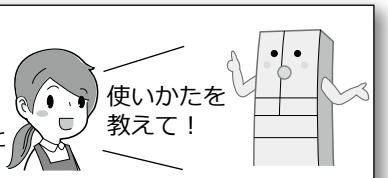
音声対話機能を使って

献立の相談をする

＊ドア ：冷蔵室・製氷室・冷凍室(下)

冷蔵庫と対話しながら献立の相談ができます。
メニューが決まると、スマートフォンで材料を確認し買い物リストが作れます。レシピも調べられます。

献立相談のしかたを冷蔵庫が教えてくれます。
「使いかたを教えて」と話しかけてください。



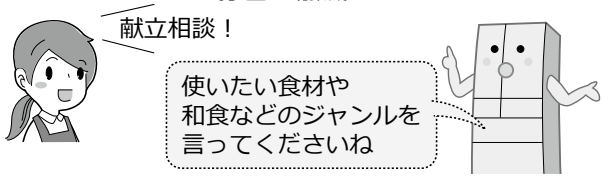
お客様から相談する

食品やジャンル(例えば「和食」など)を指定したり、「何作ろう？」と聞いたりして、お客様から冷蔵庫に献立の相談ができます。

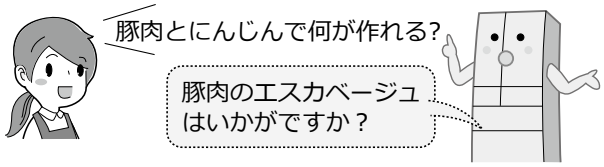
1 「おはなし」を押す



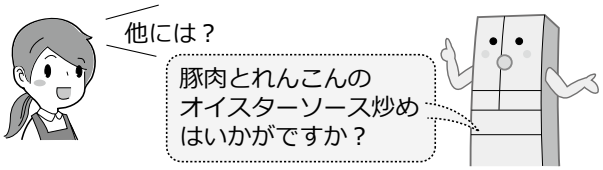
2 おはなしランプが**緑色に点滅**したら、話しかける



3 おはなしランプが**緑色に点滅**したら、話しかける



4 おはなしランプが**緑色に点滅**したら、話しかける



5 おはなしランプが**緑色に点滅**したら、話しかける



6 （スマートフォンと連携している場合）
専用アプリ「COCORO KITCHEN」でレシピと材料を確認

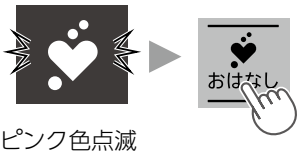
- 相談し決定したメニューはアプリに保存されています。



冷蔵庫から提案する

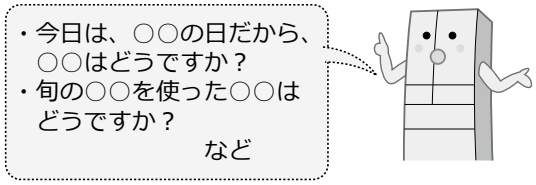
タイミングを見計らって、冷蔵庫が今日のメニューを提案します。

1 おはなしランプがピンク色に点滅時に、「おはなし」を押すか、ドア＊を開けると



ピンク色点滅

2 冷蔵庫が話します



ご注意

- ３個以上の食品の指定はできません。
- シャープクラウドサーバーに設定された食品名のみが対象です。すべての食品に対してメニュー提案できるわけではありません。

話しかける言葉について

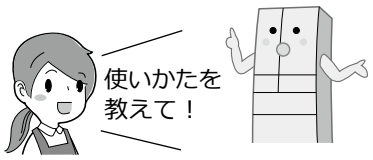
説明で使用している言葉は一例です。
早見表（裏表紙）の言葉を使って話しかけると、対話がスムーズに進みます。

音声対話機能を使って

買い物メモをする

冷蔵庫と対話しながら買い物メモができます。
登録した買い物リストはスマートフォンに
表示しますので、お買い物時に確認できます。

買い物メモのしかたを
冷蔵庫が教えてくれ
ます。
「使いかたを教えて」と
話しかけてください。



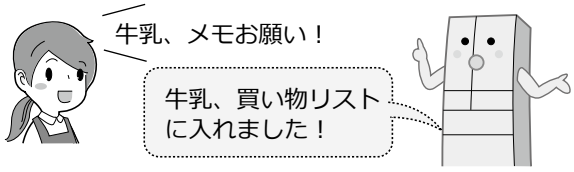
買いたい食品を登録する

気づいたときに話しかけて、買いたい食品を登録します。

1 「おはなし」を押す



2 おはなしランプが**緑色に点滅**したら、
話しかける



3 （スマートフォンと連携している場合）
専用アプリ「COCORO KITCHEN」で確認

- メモした食品は買い物リストに追加されています。



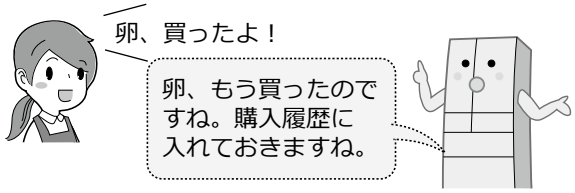
買い物メモの削除・取り消し

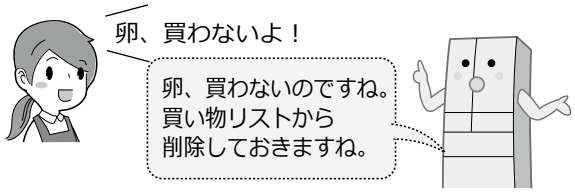
買う予定の食品を購入したときや、買う必要がなくなったときに登録します。

1 「おはなし」を押す



2 おはなしランプが**緑色に点滅**したら、
話しかける





3 （スマートフォンと連携している場合）
専用アプリ「COCORO KITCHEN」で確認

- 買い物リストが更新されています。

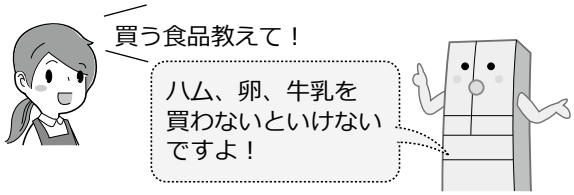
買い物メモを確認する

買い物メモした食品がわかります。

1 「おはなし」を押す

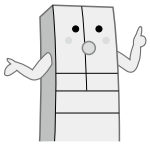


2 おはなしランプが**緑色に点滅**したら、
話しかける



お知らせ **購入履歴が増えると、冷蔵庫からもいろいろなメッセージを話すようになります。**

（購入履歴は専用アプリ「COCORO KITCHEN」でも更新できます）



- そろそろ牛乳買う時期ですね。
- 最近買ったトマトは使いましたか？
- 今日はこの前買った鶏肉で、鶏の南蛮漬けはいかがですか？

登録できる食品名について

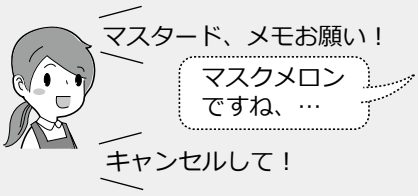
- シャープクラウドサーバーに設定された食品名のみが使えます。設定のない食品名を話すと、「登録できません。」と答えます。登録できる食品名の詳細は、シャープ冷蔵庫サポートページをご覧ください。22ページ
- 専用アプリ「COCORO KITCHEN」では、シャープクラウドサーバーに設定されていない食品も登録できます。
- 食品名は、ひとつずつ登録してください。
(例：「卵と牛乳、買い物メモお願い」は認識しません)
- 個数は登録できません。

確認できる食品名について

- 専用アプリ「COCORO KITCHEN」で買い物メモ登録した食品は、冷蔵庫が正しく話せないことがあります。

冷蔵庫が聞き間違えたら

誤った食品名で認識してしまったら「キャンセルして！」と言ってください。



話しかける言葉について

説明で使用している言葉は一例です。早見表（裏表紙）の言葉を使って話しかけると対話がスムーズに進みます。

音声対話機能を使って

伝言・スケジュール・天気予報を確認する

スマートフォンの専用アプリ「ココロボ～ド」と連携している場合に使えます。

伝言

1 「ココロボ～ド」に伝言を録音する

2 伝言が届くと、おはなしランプがピンク色に点滅します。

「おはなし」を押す またはドア＊を開ける



ピンク色点滅

＊ドア ：冷蔵室・製氷室・冷凍室(下)

3 冷蔵庫が伝言を話します。

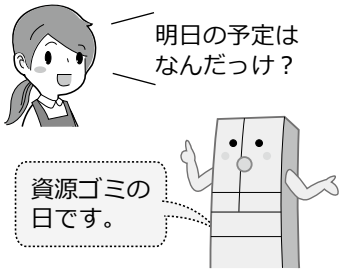
スケジュール

1 「ココロボ～ド」にスケジュールを書き込む

2 **「おはなし」を押す**



3 **おはなしランプが緑色に点滅したら、話しかける**



天気予報

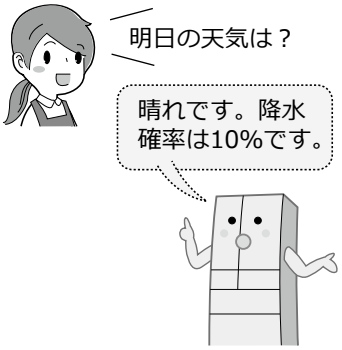
1 **「ココロボ～ド」の設定画面で、お住まいの郵便番号を登録する。**

- お住まいの郵便番号は、「COCORO KITCHEN」の設定画面からも登録できます。

2 **「おはなし」を押す**



3 **おはなしランプが緑色に点滅したら、話しかける**



話しかける言葉について

説明で使用している言葉は一例です。早見表（裏表紙）の言葉を使って話しかけると対話がスムーズに進みます。

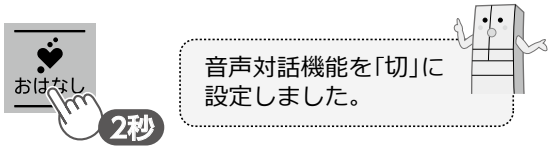
各種設定

音声対話機能を「切」にする

- 冷蔵庫の音声認識機能を停止します。
- 献立の相談や買い物メモができなくなりますが、登録した情報はそのまま残ります。
  いたずら登録や誤登録の防止にご利用ください。
- 音声メッセージは話します。　● 無線LAN接続はそのまま継続し、スマートフォンとの連携は続けます。

設定

① 「おはなし」を2秒以上押す。



再び「入」にするときも同じ手順です。

無線LAN接続をやめる

- 冷蔵庫との対話、スマートフォンとの連携ができなくなります。
- 献立の相談や買い物メモはできなくなりますが、登録した情報はそのまま残ります。
- 音声メッセージは話します。

設定

無線LAN通信モジュールの通信電源を「切」にする。



再び無線LAN接続をするときは
無線LAN通信モジュールの通信電源を「入」にする



無線LANアクセスポイントを変更したとき

設定

もう一度、宅内無線LANに接続し直す必要があります。
初期設定「無線LANに接続する」をおこなってください。6 ページ

「ECHONET Lite」モードへ切り替える

- 「ECHONET Lite」とは、一般社団法人エコーネットコンソーシアムで標準化がすすめられている通信規格です。
  異なるメーカーの家電機器を接続し、様々なサービスの提供を実現します。
- シャープクラウドモードから「ECHONET Lite」モードへ切り替えることができます。
- 「ECHONET Lite」モードへ切り替えると、シャープクラウドモード時に登録した情報は消去されます。
  音声対話もできません。

設定

① 無線LAN通信モジュールの通信電源を「切」にする。
② 無線LANボタンを押しながら通信電源を「入」にし、そのまま約3秒待つ。
③ 無線LANランプが点灯から点滅に変わったら手をはなす。
(電源ランプ点灯・無線LANランプ点灯または消灯)



再びシャープクラウドモードに戻す場合
無線LAN機能をいったん初期化し13ページ、そのあと初期設定「無線LANに接続する」をおこなってください。

無線LAN機能を初期化する(廃棄するとき・第三者へ譲渡するとき)

●無線LAN通信設定など個人情報の流出を防ぐため、冷蔵庫を廃棄したり第三者に譲渡するときは、初期化をしてください。

設定

専用アプリから冷蔵庫の登録情報を初期化

- 初期化のしかたは、サポートページをご覧ください。(22ページ)
- アプリはそれぞれ初期化をしてください。

無線LAN通信モジュール内の登録情報を初期化

① 無線LANボタンとリンクボタンを同時に10秒以上押し続ける。
② 約10秒後３つのランプが点滅するが、さらに押し続ける。
③ さらに約20秒後、ランプの点滅が高速になったら手をはなす。
④ 無線LANボタンを押す。(３つのランプが点滅)
⑤ しばらくすると、電源ランプのみ点灯する。(初期化完了)



第三者から譲渡されたとき

●第三者からの不正アクセスなどを防ぐため、以下の操作をおこなってください。
第三者の専用アプリの登録情報と無線LAN通信モジュール内の登録情報を初期化します。

設定

無線LAN通信モジュール内の登録情報を初期化

上記の「無線LAN機能を初期化する」と同じ方法でおこなってください。

お知らせ ● いずれも約5分操作を中断すると、設定を取りやめます。

こんなときは

お問い合わせの前に、下記内容をお調べください。

冷蔵庫を宅内無線LANに接続できないとき

無線LANアクセスポイントの接続確認をするために、以下の順にお調べください。

無線LANアクセスポイントは「IEEE802.11b/g/n」に対応していますか。	**無線LANアクセスポイントの取扱説明書で確認してください。**	▶ 対応していない場合、無線LAN機能はご使用できません。対応している無線LANアクセスポイントをご用意ください。
無線LANアクセスポイントは「プッシュボタン方式対応」ですか。(3 ページ)		▶ 「プッシュボタン方式対応」の無線LANアクセスポイントをご用意ください。
セキュリティの無暗号化方式は「WEP」以外ですか。		▶ 「WEP」以外に変更してから、次の確認をしてください。
無線LANアクセスポイントでSSIDを隠す設定(ステルス設定)をしていますか。		▶ ステルス設定を解除してから、次の確認をしてください。
無線LANアクセスポイントでMACアドレスフィルタリング設定をしていますか。		▶ 本製品のMACアドレスを登録してから次の確認をしてください。MACアドレスは、ラベル(4 ページ)でご確認ください。
もう一度、本製品と無線LANアクセスポイントの接続をしてください。接続できましたか。		▶ 接続できれば完了です。接続できなかった場合は、下記をご確認ください。

以下①～③の順に確認し、それでも接続できない場合は、 シャープ冷蔵庫サポートページのQ&Aをご確認ください。

① 無線LANアクセスポイントの本体やアンテナの向きを調整する。
② 無線LANアクセスポイントを本製品に近づける。
③ 無線LANアクセスポイントの電源スイッチを入れ直し、無線LANが有効になったことを確認してから、通信電源を入れ直して、「初期化」をする。(13 ページ)

無線LANアクセスポイントの再起動には、一般的に5分程度かかります。詳細は、ご利用の無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

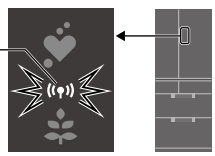
話しかけても正しく反応しないとき

本体から離れた場所から話しかけていませんか。	▶ 冷蔵庫正面から約80cm以内の所から、マイクに向かって話しかけてください。(マイクの位置 (4 ページ))
騒がしい場所で話しかけていませんか。	▶ 周囲の音も認識する場合があります。テレビの音などは、音量を下げてから話しかけてください。
おはなしランプが緑に点滅しているときに話しかけていますか。	▶ 緑に点滅しているとき以外は、音声認識ができません。
おはなしランプが緑に点滅したままではないですか。	▶ ひと呼吸おいてから、大きめの声で話してください。
音量が[**切**]になっていませんか。	▶ [**入**]にしてください。(取扱説明書 8 ページ)
音声対話機能が[**切**]になっていませんか。	▶ [**入**]にしてください。(12 ページ)

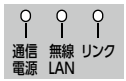
音声対話機能は決められた言葉のみ認識します。早見表を見て話しかけてください。(裏表紙)

コネクトランプが点灯していないとき（操作パネル点灯時）

点滅している。	▶ 通信エラーです。無線LANアクセスポイントの接続確認をおこない、シャープクラウドサービスのメンテナンス状況をシャープ冷蔵庫サポートページでご確認ください。しばらくすると、コネクトランプが点灯する場合もあります。
消灯している。	▶ 通信電源が「切」になっていないかご確認ください。



無線LAN通信モジュールのランプが点灯していないとき

電源ランプ、無線LANランプ、リンクランプが消灯	▶ 通信電源が「切」になっていないかご確認ください。	
・無線LANランプが点灯していない。 ・リンクランプが点灯していない。	▶ 無線LANアクセスポイントと正常に接続されていない可能性があります。「冷蔵庫を宅内無線LANに接続できないとき」をご確認ください。14ページ	

スマートフォンと連携できないとき

スマートフォンとの接続確認をするために、以下の順にお調べください。

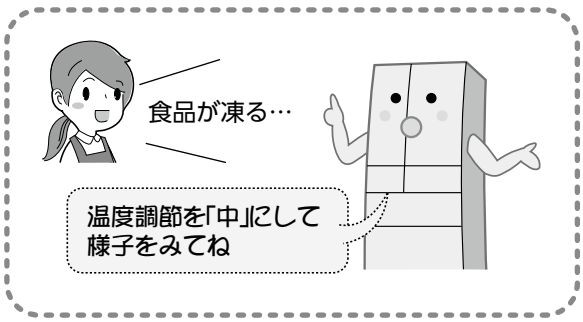
スマートフォンは「ご使用可能な条件」に対応していますか。	▶ **必要な環境** 3ページ をご確認ください。
スマートフォンの画面に無線LANで接続できていることを示すマークが出ていますか。	▶ 出ていない場合、スマートフォンが無線LAN接続していませんので、無線LANの接続設定をしてください。
スマートフォンは本製品と同じ無線LANアクセスポイントに接続していますか。	▶ 本製品と同じ無線LANアクセスポイントに接続してから、「スマートフォンと連携する」をしてください。7ページ
本製品は第三者から譲渡されたものですか。	▶ 「第三者から譲渡されたとき」13ページ をご確認ください。

以下①～④の順に確認し、それでも登録できない場合は、シャープ冷蔵庫サポートページのQ&Aをご確認ください。
① 無線LANアクセスポイントの本体やアンテナの向きを調整する。
② スマートフォンのWEBブラウザでインターネットのページを表示し、ネットワークに正しく接続されているかを確認する。
③ 無線LANアクセスポイントを本製品に近付ける。
④ 通信電源を入れ直し、1分ほど待ってからもう一度設定する。

冷蔵庫が故障かな？と思ったら

音声対話機能を使って、冷蔵庫に話しかけてください。
冷蔵庫が返答します。

- 内容によっては、返答しないこともあります。
- 同梱の取扱説明書巻末「おたすけガイド」もご確認ください。



本製品で使用している知的財産権など

■ ソフトウェア構成

本製品に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

■ 当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本製品のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。また本製品は、第三者が著作権を所有してフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。
それらの一部には、GNU General Public License(以下、GPL)、GNU Lesser General Public License(以下、LGPL)、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

■ ソフトウェアに関して

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。
こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに各種ライセンス契約の確認方法については、以下のサイトの「SJ-TF49C」に関するページをご覧ください。

http://www.sharp.co.jp/support/refrigerator/index.html

■ ライセンス表示の義務

本製品に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

・Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

・Wslay

The MIT License
Copyright (c) 2011, 2012 Tatsuhiro Tsujikawa

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

・libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2014 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

・u-boot

The eCos license version 2.0

This file is part of eCos, the Embedded Configurable Operating System. Copyright (C) 1998, 1999, 2000, 2001, 2002 Red Hat, Inc.
eCos is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 or (at your option) any later version.
eCos is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with eCos; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.
As a special exception, if other files instantiate templates or use macros or inline functions from this file, or you compile this file and link it with other works to produce a work based on this file, this file does not by itself cause the resulting work to be covered by the GNU General Public License. However the source code for this file must still be made available in accordance with section (3) of the GNU General Public License.
This exception does not invalidate any other reasons why a work based on this file might be covered by the GNU General Public License.
Alternative licenses for eCos may be arranged by contacting Red Hat, Inc. at http://sources.redhat.com/ecos/ecos-license/

BSD 2-clause "Simplified" License
Copyright (C) 2006 David Gibson, IBM Corporation. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

・OpenSSL

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL. This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

・strace
Copyright (c) 1991, 1992 Paul Kranenburg <pk@cs.few.eur.nl>
Copyright (c) 1993 Branko Lankester <branko@hacktic.nl>
Copyright (c) 1993 Ulrich Pegelow <pegelow@moorea.uni-muenster.de>
Copyright (c) 1995, 1996 Michael Elizabeth Chastain <mec@duracef.shout.net>
Copyright (c) 1993, 1994, 1995, 1996 Rick Sladkey <jrs@world.std.com>
Copyright (C) 1998-2001 Wichert Akkerman <wakkerma@deephackmode.org>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification,
are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

・wpa_supplicant
wpa_supplicant and hostapd

Copyright (c) 2002-2014, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.
These programs are licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).
If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.
This package may include either wpa_supplicant, hostapd, or both. See README file respective subdirectories (wpa_supplicant/README or hostapd/README) for more details.
Source code files were moved around in v0.6.x releases and compared to earlier releases, the programs are now built by first going to a subdirectory (wpa_supplicant or hostapd) and creating build configuration (.config) and running 'make' there (for Linux/BSD/Cygwin builds).

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

・zlib
ZLIB DATA COMPRESSION LIBRARY

zlib 1.2.8 is a general purpose data compression library. All the code is thread safe. The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files http://tools.ietf.org/html/rfc1950 (zlib format), rfc1951 (deflate format) and rfc1952 (gzip format).

All functions of the compression library are documented in the file zlib.h (volunteer to write man pages welcome, contact zlib@gzip.org). A usage example of the library is given in the file test/example.c which also tests that the library is working correctly. Another example is given in the file test/minigzip.c. The compression library itself is composed of all source files in the root directory.

To compile all files and run the test program, follow the instructions given at the top of Makefile.in. In short "./configure; make test", and if that goes well, "make install" should work for most flavors of Unix. For Windows, use one of the special makefiles in win32/ or contrib/vstudio/ . For VMS, use make_vms.com.

Questions about zlib should be sent to <zlib@gzip.org>, or to Gilles Vollant <info@winimage.com> for the Windows DLL version. The zlib home page is http://zlib.net/ . Before reporting a problem, please check this site to verify that you have the latest version of zlib; otherwise get the latest version and check whether the problem still exists or not.

PLEASE read the zlib FAQ http://zlib.net/zlib_faq.html before asking for help.

Mark Nelson <markn@ieee.org> wrote an article about zlib for the Jan. 1997 issue of Dr. Dobb's Journal; a copy of the article is available at http://marknelson.us/1997/01/01/zlib-engine/ .
The changes made in version 1.2.8 are documented in the file ChangeLog.
Unsupported third party contributions are provided in directory contrib/ .
zlib is available in Java using the java.util.zip package, documented at http://java.sun.com/developer/technicalArticles/Programming/compression/ .
A Perl interface to zlib written by Paul Marquess <pmqs@cpan.org> is available at CPAN (Comprehensive Perl Archive Network) sites, including http://search.cpan.org/~pmqs/IO-Compress-Zlib/ .
A Python interface to zlib written by A.M. Kuchling <amk@amk.ca> is available in Python 1.5 and later versions, see
http://docs.python.org/library/zlib.html . zlib is built into tcl: http://wiki.tcl.tk/4610 .
An experimental package to read and write files in .zip format, written on top of zlib by Gilles Vollant <info@winimage.com>, is available in the contrib/minizip directory of zlib.
Notes for some targets:
For Windows DLL versions, please see win32/DLL_FAQ.txt
For 64-bit Irix, deflate.c must be compiled without any optimization. With -O, one libpng test fails. The test works in 32 bit mode (with the -n32 compiler flag). The compiler bug has been reported to SGI.
- zlib doesn't work with gcc 2.6.3 on a DEC 3000/300LX under OSF/1 2.1 it works when compiled with cc.
- On Digital Unix 4.0D (formely OSF/1) on AlphaServer, the cc option -std1 is necessary to get gzprintf working correctly. This is done by configure.
- zlib doesn't work on HP-UX 9.05 with some versions of /bin/cc. It works with other compilers. Use "make test" to check your compiler.
- gzdopen is not supported on RISCOS or BEOS.
- For PalmOs, see http://palmzlib.sourceforge.net/

Acknowledgments:
The deflate format used by zlib was defined by Phil Katz. The deflate and zlib specifications were written by L. Peter Deutsch. Thanks to all the people who reported problems and suggested various improvements in zlib; they are too numerous to cite here.
Copyright notice:

(C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.
Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:
1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.
If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

シャープクラウドサービス利用規約

冷蔵庫向けシャープクラウドサービス利用規約(以下「本規約」といいます。)は、シャープ株式会社(以下「当社」といいます。)が当社製の対象冷蔵庫(以下に定義します。)を所有されるお客様(個人または法人のいずれであるかを問いません。以下同じ。)向けに提供する冷蔵庫向けシャープクラウドサービス(以下「本サービス」といいます。)をお客様がご利用いただくための条件を定めるものです。お客様は、本サービスをご利用いただくにあたっては、本規約をお読みいただき、内容についてご同意の上、ご利用いただくようお願いします。

第1章 総則

第1条 (用語の定義)

本規約における用語を、以下各号のとおり定義します。

(1) 「音声データ」とは、対象冷蔵庫に入力された音声情報をいいます。
(2) 「テキストデータ」とは、音声データをテキスト化したものをいいます。
(3) 「認識データ」とは、テキストデータのうち、特定のキーワードが登録された音声認識テーブルと照合し、合致したデータをいいます。
(4) 「食品データ」とは、対象冷蔵庫でメニュー検索・相談や、買い物メモ登録を行うサービスを利用する際に入力した食品に関する情報(お客様が買いたい食品の名称、お客様が購入した食品の名称を含む)をいいます。
(5) 「食品リスト」とは、1つ以上の食品データから構成されるリストをいいます。
(6) 「検索・相談データ」とは、対象冷蔵庫で食品リストに登録されている食品データに関する検索を行うサービスや、お客様にメニュー提案を行うためのメニューの検索(以下「メニュー検索」といいます。)を行うサービスを利用する際に入力した検索に関する情報をいいます。
(7) 「利用登録」とは、お客様が、本規約に同意の上、対象冷蔵庫の取扱説明書の記載に従って、本サービスを利用するための当社所定の設定を行うことをいいます。
(8) 「対象冷蔵庫」とは、お客様が、利用登録後に本サービスをご利用いただける、当社製の冷蔵庫(型番:SJ-TF49C)又は後継機種をいいます。
(9) 「対象搭載ソフトウェア」とは、対象冷蔵庫に搭載されているソフトウェア、およびアップデート機能によりネットワーク経由で取得するソフトウェアをいいます。
(10) 「本サポートサイト」とは、当社が運用する本サービスのためのサポートサイトで、下記のURLで表示されます。
http://www.sharp.co.jp/support/refrigerator/index.html
(11) 「サーバー」とは、当社または当社の委託先が管理するサーバーシステムをいいます。

第2章 本サービスについて

第2条 (本サービスの内容)

本サービスの内容は、以下の各号に定めるとおりです。

(1) 基本サービス
① 音声対話サービス
お客様は対象冷蔵庫と音声で対話を行うことができます。
対象冷蔵庫が聞き取った音声データをサーバーに送信します。対象冷蔵庫は、サーバーでの分析や判断に基づき、食品リストへの食品データの登録、食品データの検索、メニュー検索・相談、および対象冷蔵庫の発話内容の決定などを行います。
なお、お客様は、音声を用いて対象冷蔵庫の庫内温度の変更や、製氷機能の設定などの操作をすることはできません。
② お知らせサービス
対象冷蔵庫は、お客様に適した以下のお知らせの情報を提供します。お客様は当社が提供したお知らせの情報を任意でご利用いただけます。
a) 食品リストに登録されている食品データの内、使い忘れの食品情報
b) 食品リストに登録されている食品データの内、買い忘れの食品情報
c) 対象冷蔵庫に搭載されているセンサーなどの検知状況に基づく情報
d) その他当社からのお知らせ情報
③ おすすめサービス
お客様は、対象冷蔵庫の利用状況に基づいた、おすすめ情報をご利用いただけます。
対象冷蔵庫は、お客様の日々の対象冷蔵庫の利用状況を自動的にサーバーに送信し、サーバーでの分析に基づいた、お客様に適したおすすめメニューなどのおすすめ情報を提供します。お客様は、当社が提供したおすすめ情報を任意でご利用いただけます。
④ メニュー検索・相談サービス
お客様は対象冷蔵庫でメニューの検索・相談を行うことができます。
対象冷蔵庫は、検索・相談データをサーバーに送信し、その検索・相談データで検索したメニューをお客様に提供します。
(2) その他、前号に規定するサービスの利用に付随するサービス
なお、サービスの変更または追加については本サポートサイトに随時掲載します。詳細については本サポートサイトでご確認下さい。

第3章 プライバシーポリシー

第3条 (当社が収集するお客様の情報の内容)

当社は、本サービスにおいて、以下の各号に掲げる情報(以下「各種情報」といいます)をお客様より取得します。お客様は、当社が各種情報を当社が取得すること、及び各種情報をサーバー上に保存することに同意するものとします。

(1) 利用情報(以下「利用情報」といいます)
お客様が対象冷蔵庫に対して発話した内容とそれに基づく対象冷蔵庫の実行結果
・ お客様が対象冷蔵庫に対して発話した内容(音声データを含む)
・ 対象冷蔵庫がお客様からの発話に応答して発話する内容または実行結果の情報
・ 上記の両発話日時情報等
・ お客様が入力された以下の情報
a) 食品データ
b) 食品リスト
c) 検索・相談データ
(2) センサー情報(以下「センサー情報」といいます)
① お客様が登録した対象冷蔵庫に関する情報(製品ID、MACアドレス等)
② 対象冷蔵庫のご利用状況に基づく情報
・ 食品リストに登録した食品データ、検索・相談したメニュー、発話した情報等
③ 対象冷蔵庫のセンサーから得られる情報
・ ドアの開閉状態
・ 運転状態・モード・各種設定
・ 消費電力量等
④ 対象冷蔵庫の操作状況
⑤ 対象冷蔵庫のエラー情報
⑥ その他、対象冷蔵庫から得られる情報
(3) 個人の識別に関する情報
本サービスでは、お客様個人を特定する情報は取得しませんが、お客様が当社に問い合わせをされた際のメールアドレス等の連絡先に関する情報等が個人情報には含まれます。

第4条 (本サービス利用と情報提供の関連性)

お客様が本サービスを利用される場合、各種情報の当社への提供は必須となります。当社は、提供された情報を第5条(取得した情報の利用目的)に規定する利用目的のために使用します。これらの情報の提供を望まれない場合、本サービスの利用はできませんので、あらかじめご了承ください。

第5条 (取得した情報の利用目的)

1. 当社は、当社が取得した各種情報を以下の目的で利用します。
(1) 本サービスを運用するため、並びに、本サービスの機能改善及び品質向上のため
(2) 対象冷蔵庫の稼働状態の確認、保守、故障の診断・検知および改良のため
(3) 本サービスの利用状況の計測・分析・改良のため
(4) 本サービスの障害・不具合時の調査・対応のため
(5) 音声認識技術または意図解釈技術その他の本サービスに関する技術を活用した、本サービス、本サービス以外の当社サービス、新製品及び新サービスの開発、検討、提供、機能改善及び品質向上のため
(6) 当社の他のサービスの運営・提供等のため(当社が提供する会員サイトである「SHARP i CLUB」、対象冷蔵庫に対応したスマートフォンアプリ「COCORO KITCHEN」や「ココロボ～ド」等、当社が運営する別のサービスにおいて対象冷蔵庫の登録を行われた場合、本サービスを通じてお客様から取得した各種情報を当該別サービスの運営・提供等のために用いる場合があります。詳しい利用目的は、各サービスの利用規約にてご確認ください。)
(7) 対象冷蔵庫の保守および修理サービスを提供するため
(8) お客様の対象冷蔵庫の利用状況の分析結果に応じた、対象冷蔵庫に表示または音声で発話させる方法による当社からの広告またはコンテンツ配信のため
(9) 本サービス及び対象冷蔵庫に関連する当社または第三者の情報の配信のため
(10) 第10条(統計情報の取り扱いと匿名加工情報の第三者への提供等)に基づき、各種情報を統計情報または匿名加工情報に加工したうえで自ら利用し、または第三者(外国にある第三者を含みます)に提供するため
2. 前項に定める目的以外の目的で、当社が各種情報を利用する場合は、利用目的を明示の上改めてお客様の同意を得るものとします。
3. 当社は、お客様が本サービスのご利用を中止された後も、既に取得した各種情報については引き続き保存または利用することができるものとします。但し、当社が取得してから一定期間が経過したものについては廃棄することがあります。
4. 当社は、以下のいずれかの場合を除き、各種情報を第三者(外国にある第三者を含みます)へ提供しません。
(1) 予めお客様から同意を得た場合
(2) 第10条(統計情報の取り扱いと匿名加工情報の第三者への提供等)に基づき各種情報を加工したうえで提供する場合
(3) 法令または官公庁の要請により開示が必要な場合

第6条 (問い合わせ)

当社が、お客様の本サービスの利用により取得した各種情報に関する削除等のご請求またはお問い合わせについては、下記のURLに記載のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
http://www.sharp.co.jp/privacy/inquiry.html

第7条 (保護管理責任者)

各種情報の保護管理者は、当社 IoT通信事業本部　IoTクラウド事業部長とします。

第8条 (委託)

当社は、本サービスの提供のために、お客様から取得する各種情報の取扱いを、各種情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部事業者(外国にある外部事業者を含みます)に対し委託する場合があります。

第9条 (共同利用)

当社は、当社が取得、保存した各種情報を以下のとおり共同で利用できるものとします。

1. 共同利用される情報の項目
・ 第3条(当社が収集するお客様の情報の内容)に記載する情報
2. 共同利用する者の範囲
・ シャープエンジニアリング株式会社
・ シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社
・ 沖縄シャープ電機株式会社
・ シャープビジネスソリューション株式会社
・ シャープビジネスコンピュータソフトウェア株式会社
・ シャープマニファクチャリングシステム株式会社
・ シャープエネルギーソリューション株式会社
・ シャープファイナンス株式会社

3. 共同利用する目的
・対象冷蔵庫の保守及び修理サービスを提供するため
4. 共同利用される情報の管理について責任を有する者
当社 IoT通信事業本部　IoTクラウド事業部長

第10条　(統計情報の取り扱いと匿名加工情報の第三者への提供等)

当社は、当社が取得、保存した各種情報を以下のとおり加工したうえで、当社内で利用し、または第三者(外国にある第三者を含みます。以下本条および次条において同じ)へ提供することがあります。

1. 個人が識別できないよう十分な人数分の元情報を統計化処理して統計情報を作成し、これを研究・学会発表、マーケティングその他当社の事業活動において活用し、またはコンテンツ提供企業もしくは広告配信企業等本サービスと提携する企業、研究機関・大学等の第三者に提供するため。
2. 特定の個人を識別することができず(それ自体では個人を特定できず、かつ通常想定される外部情報との照合でも個人を特定できない)、かつ加工の元になった個人情報を復元できない形式とした匿名加工情報(以下「匿名加工情報」といいます)を作成し、当社において第5条(取得した情報の利用目的)の目的で利用するため。また、当社は、匿名加工情報を元に特定の個人を識別する行為を禁止し、提供する情報が匿名加工情報であることを明示したうえで、以下に示す目的のため第三者に匿名加工情報を提供することがあります。

a) コンテンツ／サービスの利用状況の報告のため
・提供先　:
本サービスにコンテンツを提供するコンテンツ事業者／サービス提供事業者
・利用目的:
利用料金算出のため。または、利用状況の分析によるコンテンツ／サービス選定または開発、改善等のため
・提供する情報の項目:
コンテンツ／サービス利用に関する情報(利用時刻、視聴時間、利用回数等)
・提供方法:
電磁的記録物での送付、または、電磁的記録の送信

b) 広告掲載結果に関する報告のため
・提供先　:
本サービスに広告出稿を行う事業者、放送事業者、広告代理店等メディア関連企業、マーケティング調査会社等
・利用目的:
広告の効果分析のため
・提供する情報の項目:
広告掲載に関する情報(表示数、発話数、配信時間等)
・提供方法:
電磁的記録物での送付、または、電磁的記録の送信

c) センサー情報および利用情報を用いた発話・嗜好解析技術等、家電の利用状態に関する研究のため
・提供先　:
家電のデータ解析に関連する研究機関(データ解析関連企業、大学、研究機関等)
・利用目的:
家電の利用状態に関する研究、並びに当社または提供先の新規商品、新規サービス開発のため
・提供する情報の項目:
利用・稼動に関する情報(発話情報、センサー情報、位置情報、稼動時間等)
・提供方法:
電磁的記録物での送付、または、電磁的記録の送信

第11条　(第三者提供の際のオプトアウト)

当社は、お客様から前条に規定する第三者への提供の停止の求めを受けた際、利用停止を行うことが困難な場合を除き、本サービスの提供に支障がない範囲で提供を停止します。第6条(問い合わせ)に記載するお問い合わせ窓口にご相談下さい。停止の求めを受けた場合、当社は受付後順次対応しますが、提供停止までの間には一定の日数をいただくことがあります。

第12条　(他利用者の同意)

お客様が第三者に対象冷蔵庫及び本サービスを利用させる場合は(以下、当該第三者を「他利用者」といいます)、他利用者にも本規約にご同意いただいた上で利用させてください。他利用者が本規約に同意せず対象冷蔵庫及び本サービスを利用したことにより生じるいかなる損害についても当社は責任を負いません。

第4章　本サービスの利用について

第13条　(本サービスの利用手続および停止方法)

1. お客様は、対象冷蔵庫の取扱説明書の記載に従って利用登録をしていただくことにより、本サービスをご利用いただくことができます。なお、本規約に同意いただけない場合には、本サービスを利用いただくことはできません。
2. お客様は、利用登録後、対象冷蔵庫の取扱説明書の記載に従って設定を変更することにより、いつでも本サービスの利用を停止することができます。

第14条　(本サービスを利用するための機器等)

1. お客様は、本サービスを利用していただくために必要な対象冷蔵庫、無線LAN機器、通信回線その他必要となる機器につきましては、お客様の費用と責任にて用意するものとします。
2. 本サービスを利用いただくために必要なインターネット接続サービスのプロバイダー料、通信費等インターネットによる通信に必要となる諸費用は全てお客様に負担いただきます。なお、本サービスに利用登録された後、対象冷蔵庫は、無線LAN機器を介して自動的にインターネットへの接続を行い、サーバーにアクセスします。なお、携帯電話等向けの通信回線を用いて本サービスを利用される場合は、パケット通信料金をお客様に負担いただきます。利用にあたっては、パケット通信料定額サービスへのご加入をおすすめします。これらの機器、インターネット回線等の不具合により、お客様が本サービスの利用に支障をきたしたとしても、当社は一切責任を負いません。

第15条　(本サービスの利用地域)

本サービスは、日本国内に限り利用いただけます。

第16条　(お客様の責任)

1. 対象冷蔵庫及び本サービスの利用に関しては、お客様の責任にて行うものとします。
2. 対象冷蔵庫及び本サービスの利用において、お客様が第三者に損害を与え、または第三者との間で紛争が生じた場合は、当社に帰責性のある場合を除き、そのお客様が自己の費用と責任で解決するものとします。
3. 対象冷蔵庫及び本サービスの利用に関連して、お客様が当社に損害を与えた場合は、そのお客様がその損害を賠償するものとします。
4. お客様が第三者と共同で対象冷蔵庫及び本サービスを利用する場合(以下、当該第三者を「他利用者」といいます)、お客様が自らの責任において、他利用者から本規約に対する同意を得たことを当社に保証した上で行うこととします。

第17条　(当社による本サービスの利用停止または利用登録の抹消、登録情報の削除)

1. 当社は、お客様が次のいずれかに該当すると判断した場合は、事前に通知することなく、本サービスの全部もしくは一部の利用を停止し、または利用登録を抹消することができます。これによりお客様または第三者に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負いません。
(1) 本規約または本サービスと連携する各種サービスに関する個別規約に違反した場合
(2) 第21条(禁止事項)の禁止事項に該当すると当社が判断した場合
(3) お客様により登録された対象冷蔵庫による本サービスの利用が2年以上ない場合
(4) 当社の業務遂行上または技術上の支障がある場合
(5) その他、お客様による利用操作に不適切な行為があると当社が判断した場合
2. 前項により利用登録を抹消された場合、お客様が登録されていた対象冷蔵庫の設定は削除され、お客様が設定されていた個別のサービス等も使用できなくなります。
3. 当社は、次のいずれかの場合、利用情報を削除することができます。
(1) お客様から対象冷蔵庫の譲渡または盗難等を理由に、利用情報の削除の申し出があった場合
(2) お客様から利用情報が第三者に使用されていること等を理由に、利用情報の削除の申し出があった場合
(3) その他利用情報の削除の申し出がお客様からあった場合

第18条　(お客様への通知・連絡)

1. 本サービスに関する通知は、ご利用中の対象冷蔵庫の音声を通じて、または本サポートサイトに掲載することにより行うものとします。
2. 本規約に定める通知(第28条(本規約の適用または変更)に定める通知を含む)は、お客様に到達したか否かにかかわらず、本サポートサイトに掲載し、または対象冷蔵庫の音声を通じて配信した時点をもって、お客様に到達したものとみなします。

第19条　(本サービスの利用の中断および停止等)

1. 当社は、天災地変、戦争等の不可抗力、その他非常事態が発生しまたは発生するおそれがある場合、システムの保守・点検を緊急的に行う必要が発生した場合、通信障害または設備障害への対応を余儀なくされた場合、その他やむを得ない事由が生じた場合は、お客様に対する事前の通知なく、本サービスの全部または一部を一時的に中断または停止することができます。これによりお客様または第三者に損害が生じたとしても、当社は一切責任を負いません。
2. 当社は、お客様に60日間の予告期間をもって通知することにより、本サービスの全部または一部を終了させることができます。

第20条　(本サービスの変更、追加)

1. 当社は、業務上の都合により、お客様に事前に通知することなく、本サービスの全部または一部を変更または追加することがあります。
2. 本サービスの全部または一部の変更または追加がお客様に重大な影響を及ぼすと当社が判断した場合は、当社はその変更または追加の内容を当社が適当と判断する方法によりお客様に通知するものとします。なお、当社は、本サービスの全部または一部の変更または追加によりお客様に損害が生じたとしても、当該損害について一切の責任を負いません。

第21条　(禁止事項)

お客様は、本サービスの利用において以下の行為をしてはなりません。また、当社は、お客様が本サービスに関して、以下の行為を行い、または行うおそれがあると判断した場合、本サービスの利用停止その他適切な措置を講じることができます。

(1) 本規約に違反する行為
(2) 法令または公序良俗に反する行為、またはそのおそれのある行為
(3) 当社または第三者に損害を与える行為、またはそのおそれのある行為
(4) 本サービスないし当社の活動を妨げる行為、当社または第三者の信頼を毀損する行為、もしくは、そのおそれのある行為
(5) 当社または第三者の本サービスの利用に用いる設備等もしくは本サービスの運営に支障を与える行為、または与えるおそれのある行為
(6) 本サービスを改変し、またはリバースエンジニアリング(主に、内容を解析して、人間が読み取り可能な形に変換することを指します)、逆コンパイル、逆アセンブル等すること
(7) 本サービスを通じて提供される情報を改ざんする行為、または提供側の事前の同意なく第三者に開示する行為
(8) 当社の事前の承認なく、本サービスの目的に反して営利目的等のために本サービスを利用する行為
(9) 本サービスの利用に関連する権利および義務の全部または一部を第三者に譲渡・貸与する行為またはそれに準ずる行為
(10) 当社または第三者の著作権その他の知的財産権を侵害する行為または侵害するおそれのある行為

シャープクラウドサービス利用規約　つづき

(11) 政治活動･宗教活動･犯罪的行為またはそれらにつながる行為
(12) 前各号に準ずる行為
(13) その他、当社が不適切と判断する行為

第22条　(責任の免除)

1. お客様は、本サービスを本規約に基づきお客様の責任においてご利用されるものとし、当社はお客様の本サービスのご利用およびご利用の結果について、当社に帰責事由がある場合を除き、一切責任を負いません。
2. 当社は、本サービスにおいて当社が提供する本サービスが正常に作動することおよび将来にわたり正常に作動すること、ならびに、本サービスが対象冷蔵庫以外の当社製の冷蔵庫において利用できることを保証しません。また、本サービスが正常に作動しないことおよび本サービスが利用できないことによりお客様が損害を被った場合、当社は当該損害に関して一切責任を負いません。
3. 対象冷蔵庫の登録または登録削除に関してはお客様の責任で行っていただきます。お客様がこれらの行為を行ったことによって、お客様または第三者に発生した損害については、当社は一切責任を負いません。
4. 対象冷蔵庫および本サービスを他利用者と共同でご利用いただく場合、お客様は他利用者が本規約に規定された内容に同意し、遵守することを当社に保証いただいた上で本サービスを利用させてください。他利用者が本規約に同意されず本サービスを利用されたことによって、お客様または他利用者に発生した損害については、当社は一切責任を負いません。また、対象冷蔵庫が聴き取った周囲の第三者の音声に対しても同様とします。
5. 当社は、お客様が本サービスを通じて提供された情報によって、他利用者あるいは第三者との間に生じた権利侵害等の紛争に関して一切責任を負いません。
6. 本サービスのご利用にあたり、お客様が第三者に損害を与え、または第三者との間で紛争が生じた場合は、当社に帰責事由がある場合を除き、お客様の費用と責任で解決していただきます。
7. お客様による過誤、管理不十分、または第三者による不正使用等、当社の責に帰さない事由よりお客様または第三者が損害を被った場合、当社は当該損害に関して一切責任を負いません。
8. お客様の本サービスのご利用にあたり、本サービスに関し、対象冷蔵庫に設定または登録したデータが破損、消失または変更された場合は、当社に帰責事由がある場合を除き、当社は一切責任を負いません。
9. 当社は、お客様が本サービスを通じて得た情報およびデータに関し、その正確性および特定の目的への適合性等について、いかなる保証もしません。また、これらの情報およびデータによりお客様または第三者が損害を被った場合、当社に帰責事由がある場合を除き、当社は当該損害に関して一切責任を負いません。
10. お客様が本サービスの利用のために登録された対象冷蔵庫を第三者に譲渡することにより所有者を変更する場合は、その登録を行ったお客様が速やかに当社所定の手続を行って下さい。お客様が所定の手続を怠った場合に発生した損害に関して、当社は一切責任を負いません。
11. お客様が第17条(当社による本サービスの利用停止または利用登録の抹消、登録情報の削除)第1項に基づく利用登録の抹消を行われたことによってお客様または第三者が不利益を被った場合、当社は当該不利益に関して、当社に帰責事由がある場合を除き、一切責任を負いません。
12. 当社は、本サービスが第三者の知的財産権およびその他の権利を侵害していないことを何ら保証するものではなく、お客様その他の第三者が本サービスに関連して直接的または間接的に被ったいかなる損害についても責任を負いません。
13. 本サービスは、入力された音声データをテキストデータに変換する音声認識技術および認識データからお客様に対して各種の情報提供等を行うため言語処理技術を利用しています。当該音声認識技術および言語処理技術の精度および本サービスの動作保証をはじめ、お客様の特定の使用目的への適合性、使用結果の完全性、有用性、的確性、信頼性などについて、当社は一切の責任を負いません。
14. 本サービスは、当社が指定するサーバーに自動的に接続を行います。当社が指定するサーバーで提供される情報の完全性･有用性･正確性などについて、当社は一切責任を負いません。
15. 当社は、本サービスに瑕疵が発見された場合、第18条(お客様への通知･連絡)で規定した方法により、お客様に対し瑕疵のある旨を通知するとともに、瑕疵のない本サービスを提供するか、または当該サービスの瑕疵を補修すべく努めますが、その実現を保証するものではありません。
16. 前各項に関し当社に帰責性がある場合において、当社が責任を負う範囲は、当社に故意または重過失がある場合を除き、社会通念上、債務不履行または不法行為から通常発生するものと考えられる損害(いわゆる通常損害)に限られるものとします。
17. 本サービスの利用に関連して、お客様が当社に損害を与えた場合は、お客様はその損害を賠償しなければなりません。
18. お客様が未成年の場合は、親権者等法定代理人の同意を得た上で本サービスをご利用下さい。その場合、本規約においてお客様が負うべき責任については、ご利用を同意された法定代理人に負っていただきます。

第23条　(コンテンツの取り扱い)

当社は、提供コンテンツについて、譲渡及び再許諾できず、非独占的な、本サービスでの利用を唯一の目的とする利用権を、お客様に対してのみ、許諾します。提供コンテンツにかかる著作権その他一切の知的財産権は、当社または第三者に帰属します。お客様は提供コンテンツを利用権の範囲を超えて利用してはいけません。

第5章　その他

第24条　(お問い合わせ)

本サービスに関するお問い合わせは、以下のお問合わせページからお願いいたします。
http://www.sharp.co.jp/support/refrigerator/index.html

第25条　(地位の譲渡等の禁止)

お客様は、当社との本規約に基づく本サービスのご利用に関わる権利および義務を第三者に譲渡し、賃貸しまたは担保に供することはできません。

第26条　(知的財産権)

本サービスに係る知的財産権は、当社または第三者に帰属します。本規約によるお客様への本サービスの提供は、お客様に対する何らかの権利移転等を意味するものではありません。

第27条　(輸出入関連法令の順守について)

1. お客様が、ご自身で所有する本規約の対象となる対象冷蔵庫を日本国外に持ち出す場合等、日本国または諸外国の輸出入に関する法令等(以下「輸出入関連法規」といいます)の適用を受ける場合には、輸出入関連法規を遵守するものとします。お客様は、本項の規定に違反した行為により生じるいかなる問題についても、お客様自身の責任でこれを解決するものとします。
2. 対象搭載ソフトウェアは、外国為替および外国貿易法、U.S.Export Administration Regulationsを含む日本及びアメリカ合衆国の輸出管理に関する法令に基づく規制対象であり、その他の国における輸出入規制対象であるかもしれません。お客様は、すべての当該法令を遵守するとともに、対象搭載ソフトウェアの輸出、再輸出又は輸入に際しては、関係するライセンスを取得する必要があることにご同意いただきます。対象搭載ソフトウェアは、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリア、その他米国が輸出制限措置を講じている国もしくはその国民･居住者においてダウンロードし、又はこれらの国もしくはその国民･居住者に向けて輸出もしくは再輸出できません。また、対象搭載ソフトウェアは、日本、米国その他の国の政府が公表する輸出禁止リストに掲載されている者に対して輸出もしくは再輸出できません。

第28条　(本規約の適用または変更)

1. 当社は、当社が必要と判断した場合は、お客様に通知することなく随時本規約を変更することができます。
2. 本規約の変更後の内容については、当社が別途定める場合を除いて、本サポートサイト上に掲載することによりお客様に通知するものとし、本サポートサイトに掲載された時点から変更の効力が生じます。変更の効力が生じた後、本サービスを利用されたお客様は、本規約の変更内容に同意したものとみなします。

第29条　(準拠法)

本規約の成立、効力、履行および解釈に関しては、日本法を適用します。

第30条　(専属的合意管轄)

お客様と当社との間の本規約および本サービスに関する紛争については、被告の住所地を管轄する地方裁判所または簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

附則
本規約は、2017年3月21日に発効するものとします。

シャープ株式会社

無線LAN機能に関する仕様

通信方式	無線LAN 2.4GHz帯 (IEEE802.11b/g/n)
動作方式	2つのモードのどちらかを選択して利用します。 a) シャープクラウドモード(工場出荷時の設定) (当社独自サービスを利用するためのモード) b) 「ECHONET Lite」モード (ECHONET Lite規格書 Version1.10に準拠したモード) • ECHONET Lite機能の対応状況に関しましては、シャープサポートページをご覧ください。

● 工場出荷時は、ネットワークに接続しない設定になっています。

サポートページのご案内

シャープ冷蔵庫サポートページ
（Q&A情報や修理相談など）

http://www.sharp.co.jp/support/refrigerator/index.html

専用アプリについて

「COCORO KITCHEN」

（ダウンロード）
https://cboard.cloudlabs.sharp.co.jp/cocoroapp/download/kitchen/

● 初期設定などについては、シャープ冷蔵庫サポートページをご覧ください。

「ココロボ～ド」

https://cboard.cloudlabs.sharp.co.jp/fsns/static/info

訪問サポートについて

ご購入後に訪問し、宅内無線LAN接続設定、専用アプリのダウンロード、使用方法説明などをおこないます。（有料）
詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

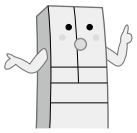
http://www.sharp-sek.co.jp/home/cloud_reizo/index.html

QRコードについて
スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。
(読み取れない場合は近傍に表記のアドレスを直接入力してください)
誘導されるサイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担になります。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

シャープ株式会社
本　　社　〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
健康・環境システム事業本部　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

話しかけ言葉 早見表

表の言葉を使って話すと、対話がスムーズに進みます。



おはなしキーを押して
おはなしランプが緑色に点滅したら
話しかけてください。



やりたいこと、キーワード		話しかけ言葉 [　　]内は、例を示しています。
献立の相談をする	献立相談を始める	献立相談 「使いたい食材や和食などのジャンルを言ってくださいね」の後に相談したいことを話してください。
	食材 (豚肉・じゃがいも・人参など)	[豚肉]で何が作れる？ [豚肉]を使ったメニューを教えて
	ジャンル(和食・中華・洋食など)	[和食]のメニューを教えて
	キーワードなし	何作ろう？
	他のメニューを知りたい	他には？・他にある？
	作りたいメニューが見つかった	それにする・お願い
買い物メモをする	登録	[牛乳]メモお願い
	登録 (複数登録)	買い物メモお願い 「買う食品を言ってください」の後に食品をひとつずつ話してください。
	登録したい食品がもうない	もうないよ・以上
	直前の登録取消	キャンセルして
	買い物リストを確認	買うもの教えて・買う食品教えて
	食品を買った	[卵]買ったよ・購入したよ
	食品の買い物を取り消す	[卵]買わないよ
天気予報を確認する		(今日・明日の)天気(予報)教えて
スケジュールを確認する		(今日・明日の)スケジュール教えて
対話を終わる		終了・終わり・もうないよ・ありがとう・わかった・了解

●対話をすぐに終了させたいときは、おはなしキーを押してください。

✂(切りはなしてお使いください)